

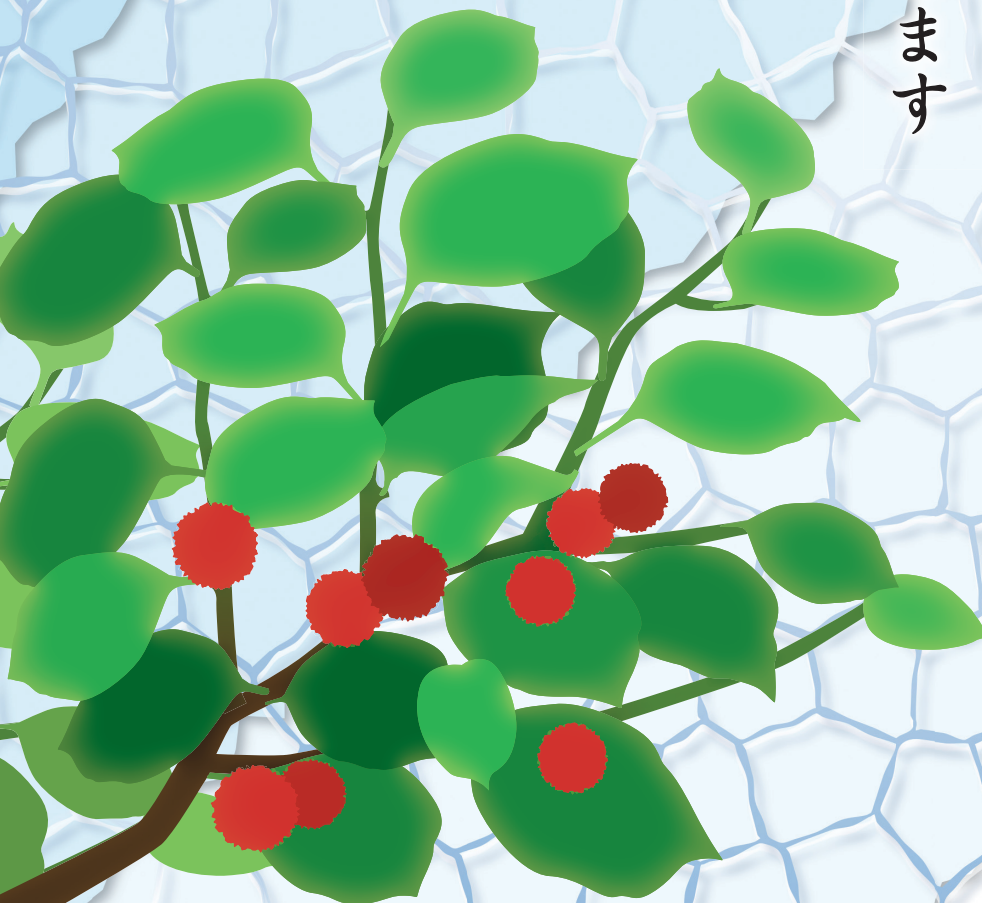
読売

あをによし賞

文化遺産 保存・継承

第17回 読売
あをによし賞
募集

文化財の保存や修復、
伝統文化の継承などの
取り組みを顕彰します



【主催】読売新聞社
【特別協力】一般社団法人文化財保存修復学会
【後援】文化庁、大阪府教育委員会、独立行政法人国立文化財機構、
公益財団法人文化財保護・芸術研究助成財団、読売テレビ

このデザインは、昨年本賞を受賞された補修紙製作にちなみ、紙すきや、和紙の原料のコウゾ(クワ科)をイメージしました。

第17回 読売あをによし賞

<https://info.yomiuri.co.jp/contest/clspgl/awoniyoshi.html>

かけがえのない文化遺産を守り、後世に伝えるため、文化財の保存、あるいは伝統文化の継承に取り組んでいる個人・団体を顕彰します。

今年から「保存・修復」と「継承・発展」という二つの部門で本賞を選定することにしました。この賞を通じて、文化遺産の未来に欠かせない保存と継承の意義を伝えていきたいと考えています。

本賞

今回から本賞を二つの部門で選定

「保存・修復の部」文化財の保存に取り組まれている個人・団体

「継承・発展の部」伝統文化の継承に取り組まれている個人・団体

応募対象

- ▷有形・無形の文化遺産を最前線で守り伝える個人・団体を募ります。
- ▷自薦・他薦、分野を問いません。
- ▷海外での活動も含まれます。再応募もできます（過去の受賞者を除く）。

応募方法

- ▷氏名、住所、電話番号、生年月日、略歴、実績などの必要事項を応募用紙（右の[応募用紙はこちら]からダウンロード）に記入してお送りください。他薦の場合は、その団体や個人の情報についてご記載ください。部門は、「保存・修復」、「継承・発展」のいずれかを選んでください。ただし、審査の結果、応募者が選んだ部門とは異なる部門で賞を授与する場合があります。
- ▷応募にあたって、活動や実績を具体的に紹介するファイルやパンフレット、会報、DVD、書籍、新聞記事など、参考資料がある場合は可能な範囲でお送りください。ただし、応募用紙、参考資料とも、審査の結果にかかわらずお返しできませんのであらかじめご了承ください。
- ▷応募用紙の送付は、Eメールまたは郵送をお願いします。



[応募用紙はこちら]

応募締め切り 2023年5月31日(水)必着

あて先 文化遺産 保存・継承「読売あをによし賞」事務局

〒530-0055 大阪市北区野崎町5番9号 大阪読売サービス イベント事業部内

問い合わせ Eメール(awoniyoshi@yomiuri.com) 電話 06-6366-1857（※平日午前10時～午後5時）

表彰

本賞 「保存・修復の部」、「継承・発展の部」

・賞金は各部門とも200万円。

・ご応募いただいたすべての個人・団体について、運営・選考委員が厳正な審査を行い、2部門の賞を決定します。

※発表は2023年秋頃を予定。 ※表彰式は同年11月3日（金・祝）午後には大阪市内で行います。

運営・選考委員	池坊 専好 華道家元池坊次期家元	園田 直子 国立民族学博物館教授	中西 進 国際日本文化研究センター名誉教授
三輪 嘉六 NPO法人文化財保存支援機構理事長	室瀬 和美 日本工芸会副理事長	湯山 賢一 東大寺ミュージアム館長	松尾 徳彦 読売新聞大阪本社取締役編集局長

【歴代本賞受賞者】（敬称略、組織名・肩書は当時）

第1回（2007年）	財団法人文化財虫害研究所（東京都）	第9回（2015年）	本瓦葺、古代瓦の復元・山本清一（奈良県）
第2回（2008年）	茅葺き棟梁・隅田隆蔵（奈良県）	第10回（2016年）	表具用古代製製作・廣瀬賢治（京都府）
第3回（2009年）	鍛冶・白鷹幸伯（愛媛県）	第11回（2017年）	表装建具製作・黒田俊介（京都府）
第4回（2010年）	絵画修復家・山領まり（東京都）	第12回（2018年）	深江官細工保存会（大阪府）
第5回（2011年）	甲冑修理師・小澤正実（東京都）	第13回（2019年）	オホーツク文化の調査、研究・北橋保男（北海道）
第6回（2012年）	手漉和紙用具製作・山本忠義（高知県）	第14回（2020年）	古文書の保存、継承・八幡神社氏子総代（徳島県）
第7回（2013年）	城郭石垣修理・栗田純司（滋賀県）	第15回（2021年）	正藍染の継承・千葉まつ江（宮城県）
第8回（2014年）	昭和村からむし生産技術保存協会（福島県）	第16回（2022年）	文化財修理に必要な補修紙製作・江淵栄貴（高知県）